屋外で火を使う皆様へ

火災を起こさないためのチェックポイント

消火器の準備

- ガソリンなどの燃料を使用する器具には、必ず消火器を準備する
- さびている、変形している消火器は使用しない
- 消火器の場所をあらかじめ確認しておく
- 火災を発見したら周囲に知らせ、119 番通報
- 危険と感じた場合は、直ちに避難する

消火器の使い方

使用方法を動画で確認

1 黄色い安全ピンを抜く　2 ホースを火元に向ける　3 レバーを強く握る

チェック1 ガスボンベの置き方、転倒防止措置

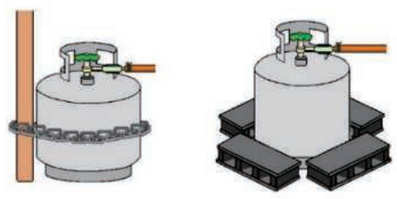
■ プロパンガスのボンベなどは置き方、取扱いに注意しましょう！

- ○ プロパンガスボンベは、平らで直射日光の当たらない風通しの良い場所に設置する
- ○ 火気から２ｍ以上離して保管、設置する

（出典：経済産業省ＨＰ）

■ 転倒しないように固定しましょう！

- ○ 露店の枠組みに鎖や紐等で固定する
- ○ ブロックなどで固定する



- ✕ ボンベのバルブなどに袋や物を引っ掛けない

➡ 転倒やガス漏れの危険

チェック2 照明器具の位置

■ 照明器具は可燃物から離しましょう！

- ✕ 熱を発生する照明器具を装飾品や木板等の可燃物に近接して設けない

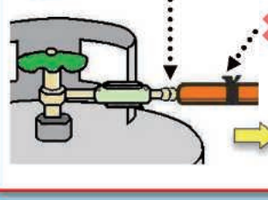
➡ 出火の危険

チェック3 ガス器具のホースの接続

■ ホースはしっかり差し込み、接続部分をホースバンドで締めつけましょう！

- ○ ホースをしっかり差し込み、接続ホースバンドで締めつける

- ✕ 差し込みが足りない
- ✕ 接続部分を締めつけていない



➡ ガス漏れの危険

■ 三又を使った接続や、ひび割れしているホースの使用はやめましょう！

- ✕ 三又を使った接続は、正しい燃焼を阻害するため、使用しない

➡ 異常燃焼の危険

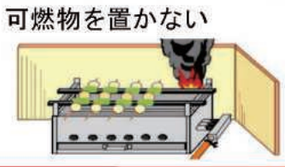
- ✕ ひび割れや、焼け焦げしているゴムホースは使用しない

➡ ガス漏れの危険

チェック4 調理器具の位置

■ 周りを整理し、燃えやすいものの近くで使用しないようにしましょう！

- ✕ 器具の周りに段ボールなどの可燃物を置かない



- ✕ テントなどの可燃物に近づけて器具を設置しない

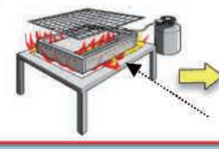
➡ 引火の危険

チェック5 調理器具の使用方法

■ 調理器具の使い方をしっかりと理解し、ガス鉄板焼き器のグリルは、正しく設置しましょう！

- ○ バーナーを正しく上向きに設置

- ✕ バーナーを誤って下向きに設置



チェック6 携行缶の取扱い

■ ガソリンの携行缶を取り扱う際は、周囲の安全を確認し、フタを開ける前に、エンジン停止・エア抜きを行いましょう！

- ○ ガソリンを注入する際は、フタを開ける前に発電機のエンジンを停止する
- ○ フタを開ける前に少しずつエア抜きをする

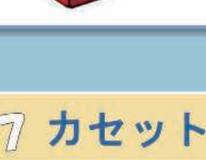
■ 高温となる場所には置かず、日陰の風通しの良い場所に置き、ガソリンの噴出事故に注意しましょう！

- ✕ 直射日光のあたる場所に置かない
- ✕ 高温の環境に置かない
- ✕ 使用中の発電機などの近くに置かない

➡ ガソリンの噴出危険

■ ガソリンを入れる容器は、法令に適合した容器を使用し、静電気による着火に気をつけましょう！

- ○ ガソリンにたまった静電気を逃すことができる金属製の携行缶が適切



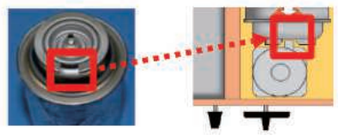
- ✕ ガソリンに適さない容器の例

灯油用ポリタンク容器

チェック7 カセットこんろの使用方法

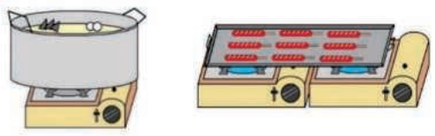
■ カセットこんろのボンベは正しく取り付けましょう！
■ こんろより大きな鍋の使用や、２台並べて使用するのはやめましょう！

- ○ 切込み凹部をボンベ受けガイド凸部に合わせて取り付ける



➡ ボンベの誤った取り付けはガス漏れや火災の危険

- ✕ カセットこんろより大きな調理器具を使用しない
- ✕ ２台以上並べて使用しない

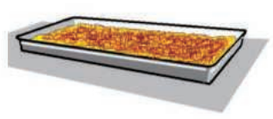


➡ ボンベが過熱され爆発の危険

チェック8 揚げかすの処理方法

■ 調理後の揚げかすは、十分に冷ましましょう！
■ 重ねて多量に放置しないようにしましょう！

- ○ 通気性のよい容器を使用し、平たく置き、十分に冷やす



- ✕ １か所に多く集めない

➡ 蓄熱により自然発火する危険

消防署からのお知らせ

夏場はお祭りや花火大会等のイベントが多く、出店や屋台により屋外で火気を使用する機会が多くなります。
火気を使用する際は十分注意するとともに、このチェック表を活用してください。

東京消防庁公式アプリ

App Store からダウンロード　Google Play で手に入れよう

消防や救急の情報を手軽に入手できる安全安心情報ツールです。
火気使用のチェックポイントをアプリでもチェックできます。

出典：東京消防庁「屋外で火を使う際のチェックリスト」